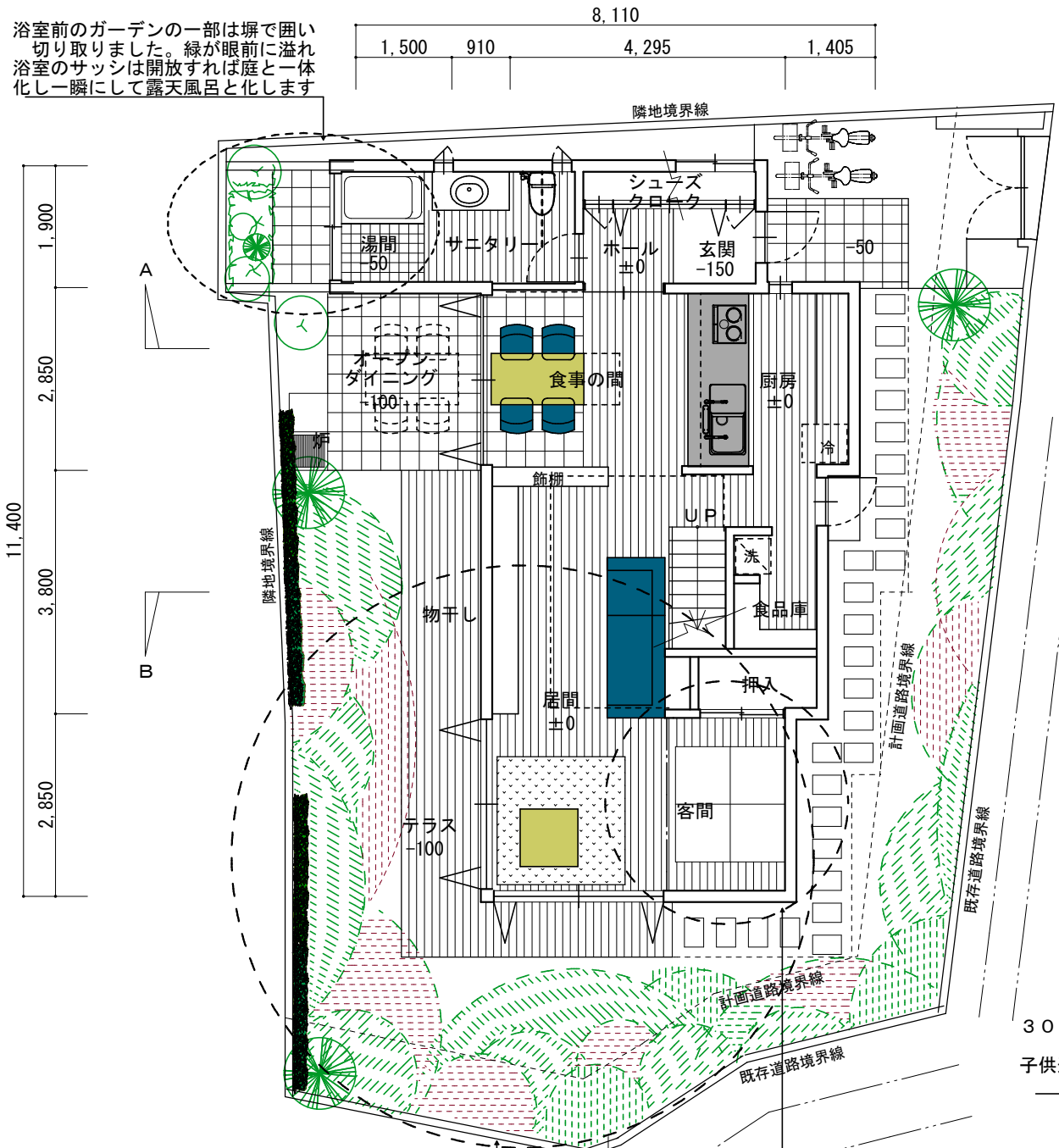


浴室前のガーデンの一部は塀で囲い切り取りました。緑が眼前に溢れ浴室のサッシは開放すれば庭と一体化し一瞬にして露天風呂と化します

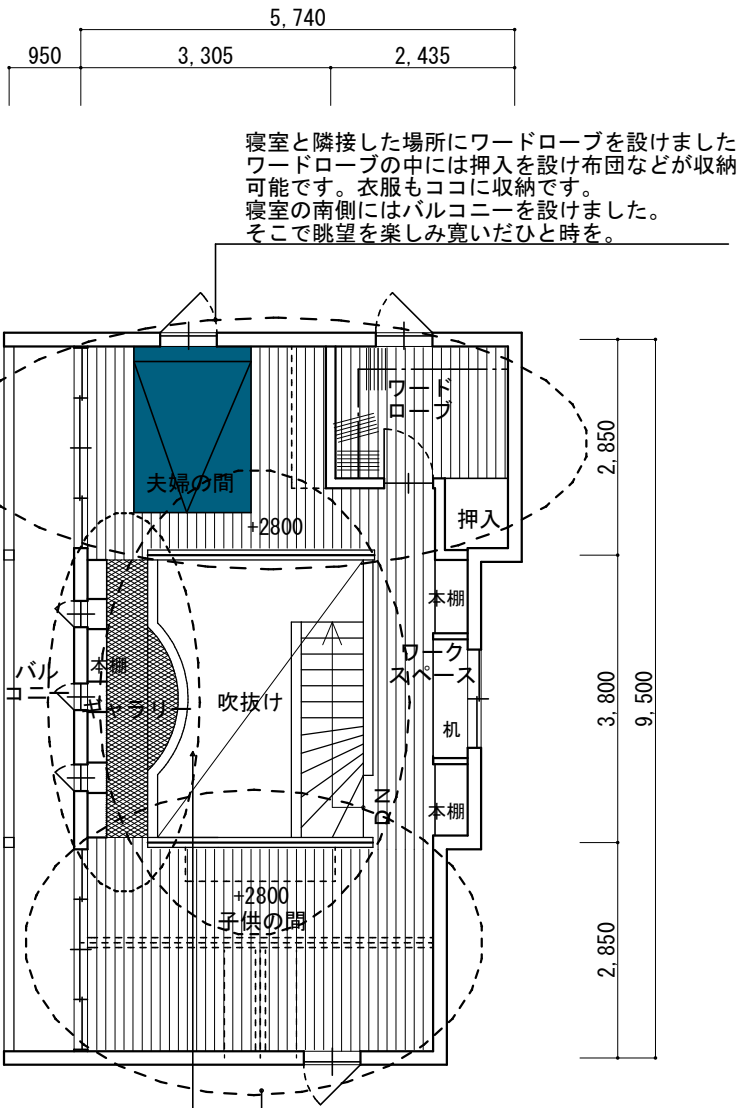


プリティッシュガーデンと居室が一体化した設計リビングからは庭に咲く四季折々の花が手にとるように眺め観ることができます。室内まで迫り来るガーデン

居間の一角に仕切れるような形式で客間を計画しました。床には同じレベルで2帖の畳を敷きこんではどうでしょうか。板張りに布団を敷くより畳に強い方が身体には優しく思います。

3000冊収容の書架を設けたギャラリー簡単なベンチを設けました。子供達もココで本を探し床やベンチに座り読書にふけります。

配置図・1平面図 S=1:100



寝室と隣接した場所にワードローブを設けましたワードローブの中には押入を設け布団などが収納可能です。衣服もココに収納です。寝室の南側にはバルコニーを設けました。そこで眺望を楽しみ寛いだひと時を。

子供の間の仕切りは自由ですが基本的な考えは、勉強する場所は吹抜け側に設け、寝室は東側に設けそれぞれを分けて計画します。子供の間とギャラリーとワークスペースは一体化したスタディースペースです。

2平面図 S=1:100

■コンセプト■

「草むらの中に営巣する鴛鴦のつがい」

敷地全体を覆い尽くさんばかりの灌木と喬木と野草のプリティッシュガーデン、その真中で草木に包まれるように置かれた「鳥の巣」をイメージしました。

春は萌黄、夏は露草、秋は柿渋、冬は白花四季折々の彩りをそえる草むらの中に、いつも目立たぬ様に、そっとある「棲」。

時の経過とともに、壁を這うアイビーは建物を覆い尽くし、周りの風景に馴染みこみます「すむ」とは、「棲まい」「巣まって」「澄む」、長い時間と手間を掛けてその「場と所」に溶け込むこと馴染むことです。

冬暖かく、夏は涼しい自然に近い住環境の中、仲睦まじい夫婦に大事に温かく育てられた雛たちは、いずれこの巣を巣立っていきます。

30年後、今度は本当の意味で自分たち夫婦のためのセカンドライフとしての20年が再スタートします。

子供室は夫婦のための趣味のスペースに快創されるかもしれません。そのときこそ本当の意味でのわがまま空間を

ちなみに「鴛鴦」は長崎の「県鳥」です

■配置計画■

敷地が狭く道路も狭い、その上敷地高低差がありましたので、予算も勘案しなるべく擁壁は触らない様に考え、敷地への出入り口は北西の角地に持つことにしました。建物配置としては、コンセプトにも記したように緑溢れるガーデンに包み込まれる様にし尚且つ、建物周囲を回遊して裏庭と表庭を行き来できるように計画しました。

門から敷地内に入場すると、プリティッシュガーデンが敷地奥へと誘います。左手の草木に誘われるままに進むとオープンダイニングまでたどり着きます。

オープンダイニングには、家族とその仲間たちの様々な交流がデザインされています。仲間を呼んでのBBQ、たまには家族だけでガーデン食事、子供との戯れ、行水や沐浴、ハンモックで昼寝etc.

建物を囲むように敷地の周囲に配したプリティッシュガーデンは、室内から鑑賞と目の癒し、前面道路や近隣の視線も潤します。

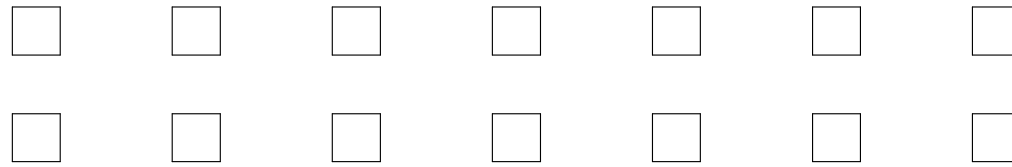
名称	床面積 m ²
2階	38.845
1階	62.405
延床面積	101.251 (30.62坪)
施工床面積	121.105 (36.63坪)

※モジュール=950

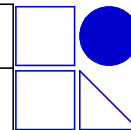
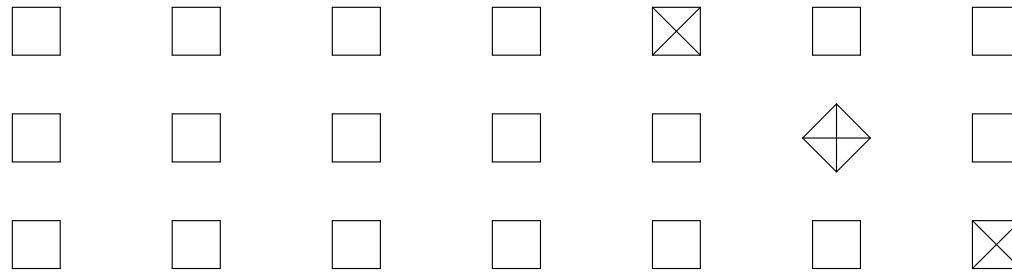
建築面積	62.405 (39.8坪)
容積対象面積	101.251 (39.8坪)
建蔽率	60% > 44.4%
容積率	200% > 72.1%
敷地面積	140.355 m ²
階数	2階建て
工造	軸組木造
工法	在来工法

各居室の面積 m ² (帖)	
居間(含む客間)	24.37 (15.0帖)
厨房・食事の間	16.25 (10帖)
夫婦の間	10.79 (6.6帖)
ワークスペース	5.34 (3.3帖)
子供室	13.54 (8.3帖)
湯間・サニタリー	7.22 (4.4帖)

■内部仕上げ			■外部仕上げ		
夫婦の間、ワークスペース 床：フローリング張り t15 +畳敷き 壁：PB12.5ビニルクロス 天井：PB9.5ビニルクロス	ギャラリー 床：エキスパンドメタル 壁：PB12.5ビニルクロス 天井：PB9.5ビニルクロス	サニタリー 床：フローリング張り t15 壁：PB12.5ビニルクロス 天井：PB9.5ビニルクロス	屋根：ガルバ鋼板瓦葺き t0.4	東外壁：李板鳥の巣状張り OSM塗布 漆喰塗り 蔦(アイビー)仕上げ	南外壁：ケイカル板張り VP 蔦(アイビー)仕上げ
子供の間 床：フローリング張り t15 壁：PB12.5ビニルクロス 天井：PB9.5ビニルクロス	居間、食事の間、厨房 床：フローリング張り t15 壁：PB12.5ビニルクロス 天井：PB9.5ビニルクロス	湯間 床：タイル張り 壁：タイル張り 天井：ケイカル板下地VP	西外壁：李板鳥の巣状張り OSM塗布 漆喰塗り 蔦(アイビー)仕上げ	北外壁：ケイカル板張りVP 蔦(アイビー)仕上げ	テラス：李板張り オープンダイニング：300角タイル張り



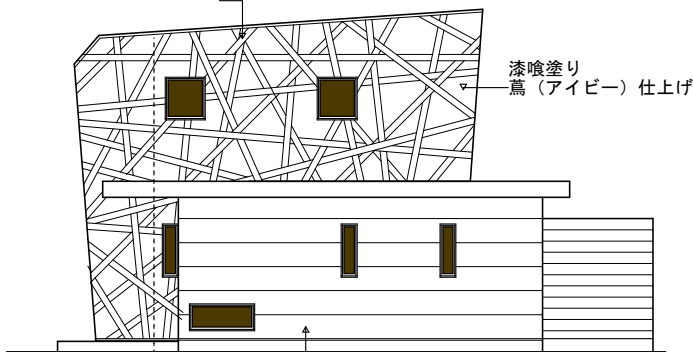
(仮称) 英国式ガーデンの鴛鴦の棲Project



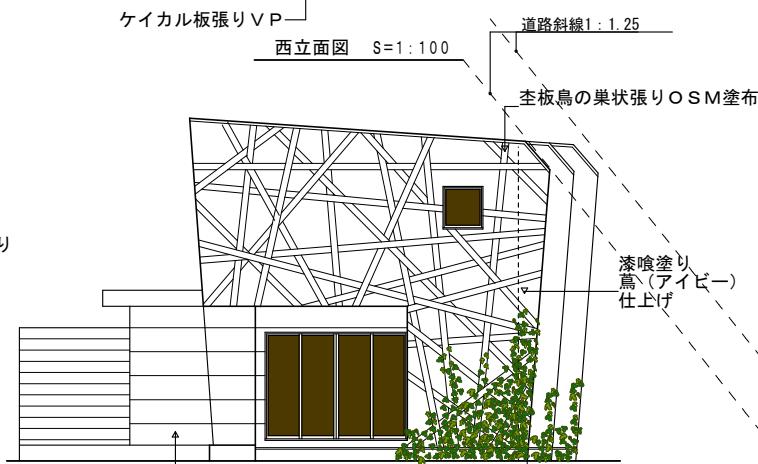
村上公建築研究所

〒811-1362 福岡市南区長住7-2-21-310
PHONE 092-554-4926

桟板島の巣状張りOSM塗布



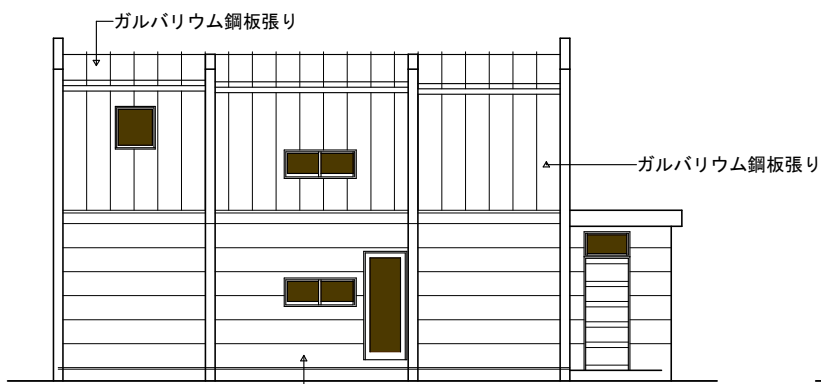
西立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



南立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100

■立面計画■

東西の外壁は「鳥の巣」をイメージしたデザインで、桟板を縦横無尽に入りめぐらしました。桟張りの隙間は本来なら開けたままにしたい所ですが、漆喰のような粘土材を塗り込めることにしました。桟張りには盛り起伏があつてしかるべきで、その桟板を頼りに蔦が屋根まで這い上がり建物を覆い尽くします。仕上げはアイビーです

蔦の葉は夏の日差しから建物を護り、建物内部を熱から遮断します。冬場は蔦の葉も落ち、温かい日射を室内まで運びます。20年後が蔦仕上げの完成です。フリティッシュガーデンと同化した緑溢れるロハスな建物です

建物北側には、建物が接近しているので最小限の開口部に留めました1階の南東側にはコーナーの広い開口を設けました

■平面計画■

1階は家族のパブリックゾーン、2階は家族のプライベートゾーン、1階南側には東西に長く居間・食事の間・客間を張り付け、何処からでも、フリティッシュガーデンが眺められ、必要なときには何処からでも出入りできるように計画しました。

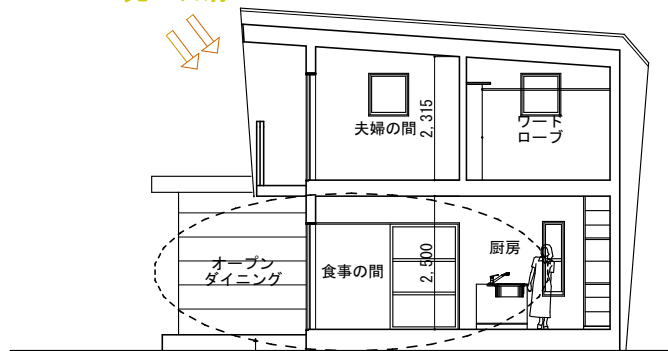
食事の間と厨房は視覚的に繋がっており、キッチンで作業をされる奥さんともスムーズな会話が可能で設計です。2mの長大なテーブルにもゆとりを持たせた食事の間です。オープンダイニングと一体利用が可能で、家族とその仲間たちの様々な交流がデザインされています。仲間を呼んでのBBQ、たまには家族だけでガーデンパーティー、ガーデンニングや家庭菜園の作業も可能です e t c.

2階を家族のためのプライベートなゾーンに、1階を家族のためのパブリックなゾーンとして計画、その上下2層を視覚的に繋ぐために居間上部に一体化した吹抜けを設置しました。この吹抜け空間が各部屋と家族の気持ちをも結び役割を担っています

子供室と居間は吹抜けを介して繋がっており、居間から子供たちの様子を窺い知ることができます。子供の間と夫婦の間は吹抜けを挟んで並設、子供たちの気配を何時でも感じ取れるよう計画しました。

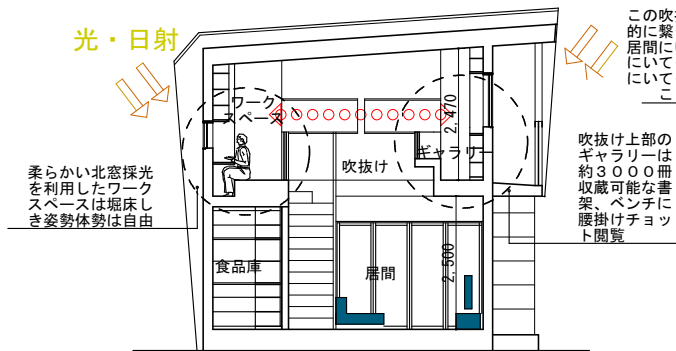
2階の通路を利用して北側にご主人のためにワークスペースを設け、南側に書架を設けたギャラリーを計画しました。計画ではワークスペースは開放していますが、扉を設けて仕切することも可能です。デスクは掘床しきで計画しています。

光・日射



A-A断面図 S=1:100

光・日射



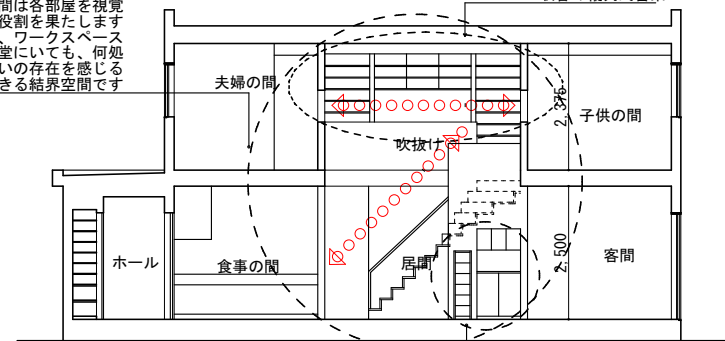
B-B断面図 S=1:100

この吹抜け空間は各部屋を視覚的に繋ぎ結び役割を果たします居間においても、ワークスペースにおいても、食堂においても、何処にいてもお互いの存在を感じる事ができる結果空間です

吹抜け上部のギャラリーは約3000冊収蔵可能な書架、ベンチに腰掛けチョット閲覧

柔らかい北窓採光を利用したワークスペースは掘床しき姿勢体勢は自由

1500収容の縦列式書架



C-C断面図 S=1:100

煩雑な雑誌や封書はこの棚に平積み

人の視線+動きのデザイン

南東方向より見る



南西方向より見る



南東方向の上方より見る



北東方向より見る

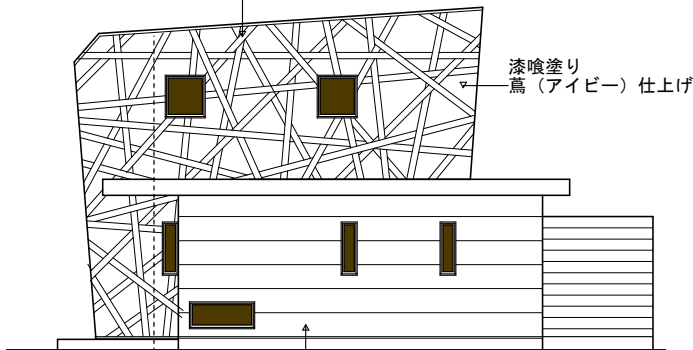


北東方向より全体を見る

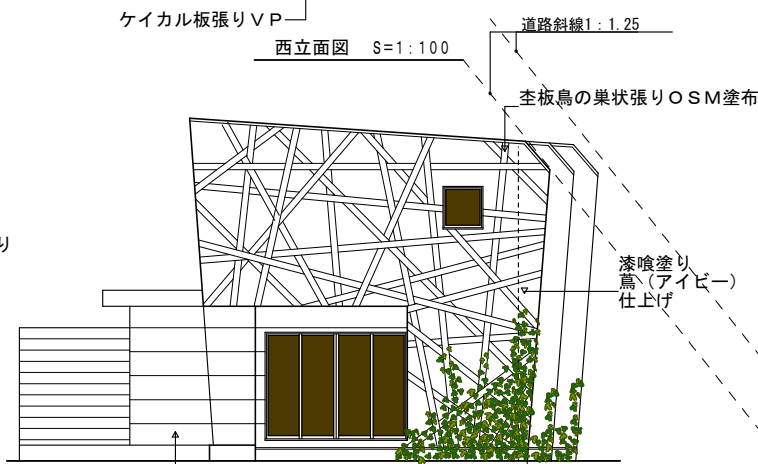


南西方向より全体を見る

桟板島の巣状張りOSM塗布



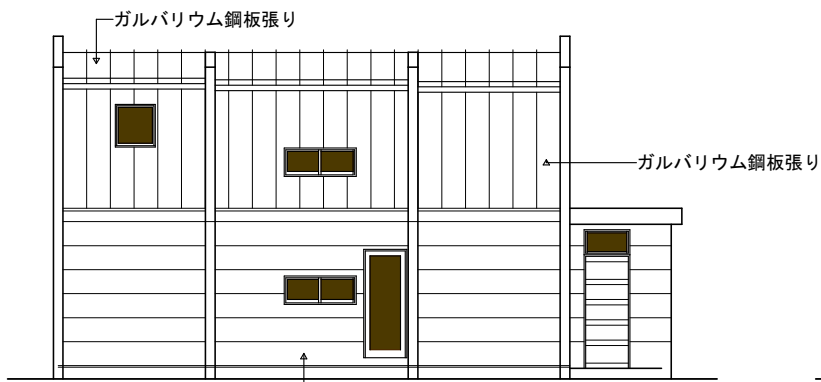
西立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



南立面図 S=1:100



北立面図 S=1:100

■立面計画■

東西の外壁は「鳥の巣」をイメージしたデザインで、桟板を縦横無尽に入りめぐらしました。桟張りの隙間は本来なら開けたままにしたい所ですが、漆喰のような粘土材を塗り込めることにしました。桟張りには盛り起伏があつてしかるべきで、その桟板を頼りに蔦が屋根まで這い上がり建物を覆い尽くします。仕上げはアイビーです

蔦の葉は夏の日差しから建物を護り、建物内部を熱から遮断します。冬場は蔦の葉も落ち、温かい日射を室内まで運びます。20年後が蔦仕上げの完成です。プリティッシュガーデンと同化した緑溢れるロハスな建物です

建物北側には、建物が接近しているので最小限の開口部に留めました1階の南東側にはコーナーの広い開口を設けました

■平面計画■

1階は家族のパブリックゾーン、2階は家族のプライベートゾーン、1階南側には東西に長く居間・食事の間・客間を張り付け、何処からでも、プリティッシュガーデンが眺められ、必要なときには何処からでも出入りできるように計画しました。

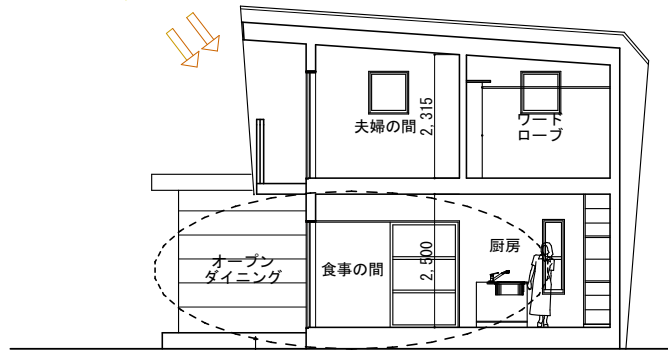
食事の間と厨房は視覚的に繋がっており、キッチンで作業をされる奥さんともスムーズな会話が可能で設計です。2mの長大なテーブルにもゆとりを持たせた食事の間です。オープンダイニングと一体利用が可能で、家族とその仲間たちの様々な交流がデザインされています。仲間を呼んでのBBQ、たまには家族だけでガーデンパーティー、ガーデンニングや家庭菜園の作業も可能です etc.

2階を家族のためのプライベートなゾーンに、1階を家族のためのパブリックなゾーンとして計画、その上下2層を視覚的に繋ぐために居間上部に一体化した吹抜けを設置しました。この吹抜け空間が各部屋と家族の気持ちをも結び役割を担っています

子供室と居間は吹抜けを介して繋がっており、居間から子供たちの様子を窺い知ることができます。子供の間と夫婦の間は吹抜けを挟んで並設、子供たちの気配を何時でも感じ取れるよう計画しました。

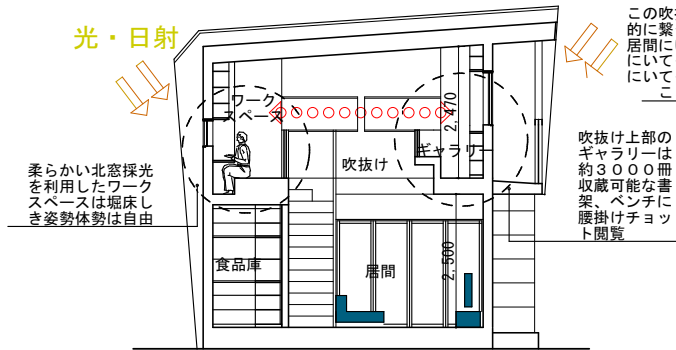
2階の通路を利用して北側にご主人のためにワークスペースを設け、南側に書架を設けたギャラリーを計画しました。計画ではワークスペースは開放していますが、扉を設けて仕切することも可能です。デスクは掘床しきで計画しています。

光・日射

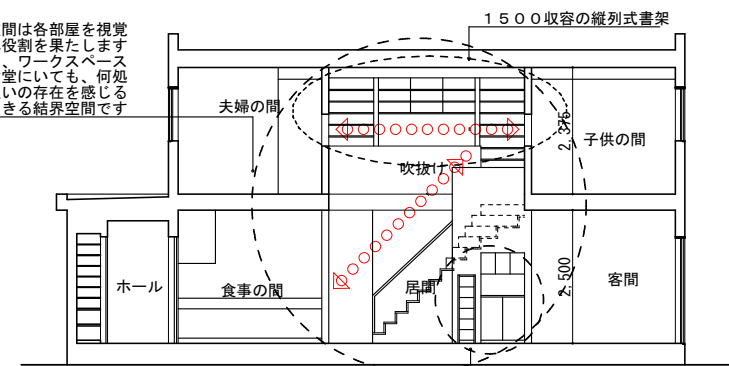


A-A断面図 S=1:100

光・日射



B-B断面図 S=1:100



C-C断面図 S=1:100

外部のオープンダイニングと内部の食事の間は、サッシを開放すれば一体空間、内部と外部がつながります。天気の良い日は庭の草木の中でアウトドア気分も

柔らかい北窓採光を利用したワークスペースは掘床しき姿勢体勢は自由

この吹抜け空間は各部屋を視覚的に繋ぎ結び役割を果たします居間においても、ワークスペースにおいても、食堂においても、何処にいてもお互いの存在を感じることができる結果空間です

吹抜け上部のギャラリーは約3000冊収蔵可能な書架、ベンチに腰掛けチョット閲覧

1500収容の縦列式書架

煩雑な雑誌や封書はこの棚に平積み

人の視線+動きのデザイン

南東方向より見る



南西方向より見る



南東方向の上方より見る



北東方向より見る



北東方向より全体を見る



南西方向より全体を見る

南東方向より見る



南西方向より見る



南東方向の上方より見る



北東方向より見る



北東方向より全体を見る



南西方向より全体を見る